



ヘルパーさんへ笑顔で感謝

小樽育成院だより

平成26年10月1日発行

えが お 43 号

2014年

社会福祉法人
小樽育成院

運営理念

基本的人権の

確保と擁護

（人間を大切にする
サービスの提供）

利用者の自立した生活
を支援するためのサー
ビスを提供します。

利用者の生活と生き方
を尊重したサービスを
提供します。

利用者中心のサービス
を提供します。



発行／ 社会福祉法人 小樽育成院

〒048-2671 小樽市オタモイ1丁目20番18号

TEL: (0134) 28-2500 (代) FAX: (0134) 26-2476

URL: <http://www.otaru-ikuseiin.com> 育成院 検索

社会福祉法人小樽育成院 平成26年度事業目標の柱

経営安定のための環境整備

昨年度に引き続き、利用者増や稼働率の向上など収支の改善を図り、サービス体制や効果的な受入れシステム等の見直しを進めます。また、来年度の介護保険改正に向けた情報収集と準備を進めます。

安全・安心の確保

施設利用者及び地域住民も安心して生活できる環境づくりを進めるために、建物や設備の保守点検及び地域との連携強化を図ります。
施設内感染の予防に努め、発生時には地域への情報提供を行うなど、利用者、職員、地域住民が安心して過ごすことができる環境づくりを進めます。

サービス提供のための 人材確保と資質向上

当法人の運営理念『基本的人権の確保と擁護』を確かなものとするための職員の確保と育成をしつかりと進め、職員が安心できる労働環境の整備に努めます。また、医療と福祉の連携に向け医療面での知識の習得および介護職員の医療的ケアの実施に向けた体制の整備をめざします。

地域福祉向上と地域との関係強化

当法人が持っているノウハウを生かし、引き続き地域住民や関係団体と協働して小樽市北西部の地域福祉の拠点としての役割を果たすほか、社会福祉法人としての公共性を高めるため、より積極的な情報公開を行います。

養護老人ホーム 小樽育成院

育成院では、10年ほど前に入居者の皆様の健康増進を目的に、入居者様と職員が一緒になって、4ホールのパークゴルフ場を造りました。

パークゴルフは、ご高齢の方でも気軽に楽しめるスポーツとして人気があります。小樽育成院では自由にゲームができるよう、利用者様がご自分のペースで好きな時間にパークゴルフを楽しんでいただいています。中には毎日朝・夕とコースを回っている方もいます。

また、毎年、後志管内で開催される養護施設利用者のパークゴルフ大会に参加することを目標に練習に励んでいる方もおり、今年の大会では、個人で優勝、準優勝を獲得しています。

これからも、地域の方々にもゴルフ場を解放しておりますので、たくさんの方々にパークゴルフを楽しんでいただきたいと思っておりますので、ご利用されたい方はお気軽にお声をかけて下さい。



当法人の手造りパークゴルフ場



管内パークゴルフ大会参加者一同

〒048-2671 小樽市オタモイ1丁目20番20号 TEL (0134) 26-0162 FAX (0134) 26-2874

特別養護老人ホーム やすらぎ荘

やすらぎ荘は、概ね65歳以上の要介護1～5の方（平成27年4月以降は原則要介護3～5の方）で、様々な理由によりご自宅での生活が困難となった方が対象の生活施設です。ユニットと言われる家庭的な環境のなかで、10名程の入居者が自由に生活しています。部屋は全室個室のためプライバシーが守られ、タンスや飾り物、仏壇などを持ち込み、自分の好きな空間にすることができます。また、専属のスタッフが24時間対応し、ご本人の出来ない部分のお手伝いをさせて頂きます。

日々の生活では、生け花や歌のサークル活動、セラピードッグによる訪問、入居者の皆様とスタッフで調理を行ったり、敬老会や餅つき、クリスマス会などのイベントを開催しています。このような暮らしの中で、入居者の皆様とスタッフに馴染みの関係が生まれ、入居者一人ひとりに深く関わっていただけるケアを提供したいと思っています。



入居者みんなで芋餅づくり



夏恒例のバーベキューお食事会

〒048-2671 小樽市オタモイ1丁目20番18号 TEL (0134) 26-3272 FAX (0134) 26-0894

オタモイデイサービスセンター

オタモイデイサービスでは、利用者一人ひとりが趣味や特技・仕事で培った技術などを生かし「大人のアクティビティ」としてサービスを提供させていただきます。

囲碁・将棋・麻雀・花札・編み物・手芸・おやつ作りのほか、畑・土いじりが好きな人には、センター前の畑でトマト・枝豆などを作り収穫をしています。特に趣味がないという方でも、利用しているうちに、自分にあった楽しみを見つける事が出来ると思います。

また、屋外昼食会・クリスマス会・新年会など季節に合わせた行事や茶道サークル・華道サークル、絵手紙や和紙工芸教室なども行っています。

見学は無料でお受けしていますので遠慮なく下記の電話番号まで、ご連絡ください。



和紙工房で小物入れを製作



みんなで楽しいお寿司会

〒048-2671 小樽市オタモイ1丁目20番19号 TEL (0134) 26-1116 FAX (0134) 26-1129

オタモイケアプランセンター

オタモイケアプランセンターでは、介護を必要とされる方や介護をされるご家族が、住みなれたご自宅で安心して生活を継続できるように介護についての支援をさせていただいています。現在、センターの4名のケアマネジャーが150名ほどの方のサポートをしています。センターの頼りになる同僚や信頼できる介護サービス事業所さんと協力しながら、皆さんにとって一番良い支援方法を提供していきたいと思っています。

更に、ご家族にとって最良の支援が調整できるように、まだまだ、勉強しなくてはならないことも沢山ありますが、お気づきの点がありましたらお声を掛けてください。また、介護のことでお困りの方がいましたら、お気軽にセンターまでご相談ください。



ケアプランのスタッフ一同



事務室の様子

〒048-2671 小樽市オタモイ1丁目20番18号 (やすらぎ荘内) フリーダイヤル 0120-514-294 FAX (0134) 26-0894

小樽市北西部地域包括支援センター

地域包括支援センターでは、これまで住み慣れた地域で安心して暮らせるように、高齢者の日常生活に関わる相談のほか、介護や介護保険に関する相談など、介護・医療・健康の面から支援するために様々な相談が受けられるように、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師を配置して相談を受けています。

北西部地域は、高齢化率が約36%となっており、一人暮らしの多い地域でもあります。昨年度の相談件数は、約360件と横ばいとなっており、介護保険に関する相談が多く寄せられています。中には、高齢者を狙った消費者被害や虐待(疑い含む)といった内容もあります。

その他、地域版介護予防教室、地域版介護予防フェア、家族介護教室なども開催しております。気軽に相談できる窓口をめざし、現在7名の職員で運営をしており、相談のほか出前講座(介護技術や認知症に関する内容等)も行っています。高齢者に関わる相談、介護保険に関する問い合わせなど、お気軽にお電話ください。



介護予防出前講座



地域版介護予防フェア

〒048-2671 小樽市オタモイ1丁目20番18号 (やすらぎ荘内) TEL (0134) 28-2522 FAX (0134) 28-2523

地域ボランティアと歩む。

お花やお茶で楽しいクラブ活動

華道・茶道



毎月、華道・茶道ボランティアの先生によるクラブ活動をお手伝いしていただき、いつまでも元気で過ごされる利用者様

地域ボランティアは福祉施設に なくてはならない活動です。

ボランティアの語源は「善意」「意思」という意味のラテン語『ボランタール』で、ボランティア活動とは「自らの意思で人のために行う活動」と言うことができます。昔は慈善を目的とした一方的な活動がほとんどでしたが、今では『一緒に楽しむ、共に活動する』ものになってきています。

育成院ややすらぎ荘などの施設に入居すると施設の中で生活のすべてを賄うことができるため、地域社会とのつながりが稀薄になりがちなのですが、様々なボランティアの皆様との交流はそれを補うための大切な時間となっています。

活動内容はお話し相手や散歩のお手伝いなど空いている時間を利用してのものや、理美容など技能を発揮していただくもののほか、唐門まつりなどの地域の方々との屋外でのイベント行事では、入所者さんの車いすを押してもらうなど、幅広く活動していただいています。

今回は様々なボランティア活動の様子をご紹介します。2つのグループの方にお話を伺いました。

音楽を通し ころろ休まるひととき

歌サークル

毎月、ボランティアの先生が電子ピアノを弾きながら、童謡からクラシック音楽まで幅広く演奏され、ボランティアの方々と利用者様が楽しむひととき…



理容コバヤシ
小林 博さん

毎月1回8名様くらいの施設利用者様様の散髪を行ってきました。ボランティア活動は、私ともう一人の2名体制で、数えると700回以上の継続です。利用者様ひとりひとりのお付き合いを大切に、たくさんの方の会話をしながら、私自身も楽しく活動できています。

振り返ると、このボランティアを始めた頃は、私はまだハサミも持ったことが無いような若い学生でした。そんな学生に対して施設は、バリカンや首剃りから、ずいぶん経験の場を提供して頂いたように思います。またある時、当時の及川施設長が休日返上でやって来られ、学生の私に「ありがとう」と深々と頭を下げられたのです。そのような立派な方から感謝の言葉を頂き、お互いに感謝をしながら生活をしていく事の大切さを学ばせて頂きました。

この活動のおかげで私は一人前になれたと思っています。これから感謝の気持ちを忘れずに、続けていける限り、この御礼奉公を続けていきたいと思っています。



私が小樽育成院さんに理容ボランティアとして関わり始めたのは、昭和25年頃から。当時はまだ奥沢に院舎があった頃で、

イベント会場で車いすのお手伝い イベントボランティア



例年、6月の唐門まつりや8月の盆踊り・花火大会に職員と一緒に、車イスを利用して、いる方々の移動のお手伝いをさせていただくとともにお祭りに参加、ステージや屋台・縁日を地域の方々と楽しいひとときを満喫...

セラピードッグとの心なごむひととき セラピードッグ



毎月、飼い主のボランティアの方々が、愛犬とともに利用者様との心温まる交流を通してなごむひととき...



特設の喫茶等による コーヒーやお菓子の提供とゲーム会 喫茶・遊ぼう会

毎月、育成院で行われる「喫茶えがお」・「遊ぼう会」で職員のお手伝いを行っているボランティアの方々と一緒に、ゲームを行う利用者様



今後もこの会の活動を通じて、一緒に歌を歌ったり、手品に挑戦したり、アイスクリームを食べたりして、ともに楽しめ、ともにやすらげる活動を続けていきたいですね。



現在の会員数は15名で、いつも10名前後の会員さんで活動を行います。関わるきっかけは人それぞれですが、一人で過ごすよりも皆に会える生活の一部として、無理なく心地よく、楽しみながら活動しているからこそ長く続けられているのだと実感しています。活動を継続して25年目の平成21年には、「ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰」も頂きました。



三期会
ボランティアスタッフの皆さん

私たちは今から31年前、小樽市社会福祉協議会が実施するボランティアスクールの第三期卒業生が集まり、「三期会」という名で活動を始めました。現在では毎月やすらぎ荘さんにて、第2月曜日は花

4月	【デ イ】お寿司ウィーク、桜開花予想 絵手紙、和紙工芸 【育成院】喫茶「えがお」(毎月) 遊ぼう会(毎月)  【やすらぎ荘】ボランティアドッグ(毎月) 歌・花サークル(毎月)	10月	【法人】育成院神社祭、苦情相談委員会 【やすらぎ荘】中央幼稚園・長橋保育園来訪 【地域包括】 地域向け広報紙 「にこりてい」発行予定 
5月	【法人】理事会・評議員会 【育成院】介護予防教室 【デ イ】べこ餅、かしわ餅作り 出前調理  【地域包括】事業所向け広報紙「ニコリティー」発行	11月	【法人】介護相談フェア
6月	【法人】オタモイ唐門まつり 【育成院】パークゴルフ始球式 蓄音機による音楽会 	12月	【各事業所】 クリスマス会(育成院) 【やすらぎ荘】 餅つき  
7月	【育成院】 管内利用者交流パークゴルフ大会 ジンギスカン昼食 【やすらぎ荘】 蓄音機による音楽会 韓国ソウル市江西区視察 【デ イ】 野外昼食会 【地域包括】 地域向け広報誌 「にこりてい」発行  	1月	【法人】理事会・評議員会 【各事業所】新年交礼会 【育成院】獅子舞、かるた会、初釜、鏡開き  【やすらぎ荘】獅子舞、初釜 【デ イ】初釜、鍋パーティー 【地域包括】 事業所向け広報紙 「ニコリティー」発行 
8月	【法人】合同慰霊祭、地藏尊祭、 オタモイ盆踊り・花火大会(町会と共催) みなとライオンズ盆菓子寄贈 【やすらぎ荘】琴アンサンブル  	2月	【育成院・やすらぎ荘】 節分、雪あかりの路、夜間想定火災訓練  (育成院) 【地域包括】 地域向け広報紙「にこりてい」発行予定  (やすらぎ荘)
9月	【法人】おたる潮太鼓演奏、合同火災訓練(町会支援) 【育成院】札幌ドームプロ野球観戦 【やすらぎ荘】敬老の日行事 【デ イ】敬老週間 【地域包括】家族介護教室、地域版「にこりてい」発行  	3月	【法人】理事会・評議員会 【育成院】雛祭り 【やすらぎ荘】生寿司 【デ イ】雛祭り行事 【地域包括】地域ネットワーク会議  

平成25年度 社会福祉法人小樽育成院 収支決算表

(自)平成25年4月1日 (至)平成26年3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目		決算合計	法人本部	合 計	小樽育成院			合 計	やすらぎ荘		デイサービス	地域包括支援	ケアプラン
					養 護	特定施設	訪問介護		入 所	短期入所			
経常活動による収支	収入												
	介護保険収入	765,631,302	0	160,104,580	0	86,605,040	73,499,540	484,998,011	441,259,833	43,738,178	54,329,096	40,884,605	25,315,010
	利用料収入	12,900	0	12,900	12,900	0	0	0	0	0	0	0	0
	措置費収入	324,659,085	0	324,659,085	324,659,085	0	0	0	0	0	0	0	0
	経常経費補助金収入	1,299,700	0	49,700	49,700	0	0	1,250,000	1,250,000	0	0	0	0
	寄付金収入	1,062,000	412,000	150,000	150,000	0	0	500,000	500,000	0	0	0	0
	雑収入	14,446,125	241,491	4,788,279	4,788,279	0	0	9,222,452	9,222,452	0	175,903	18,000	0
	借入金利息補助金収入	627,109	0	63,898	63,898	0	0	563,211	563,211	0	0	0	0
	受取利息配当金収入	160,671	100,891	36,155	35,968	187	0	17,251	17,251	0	2,740	1,253	2,381
	経理区分間繰入金収入	24,350,000	0	24,350,000	24,350,000	0	0	0	0	0	0	0	0
	経常収入計(1)	1,132,248,892	754,382	514,214,597	354,109,830	86,605,227	73,499,540	496,550,925	452,812,747	43,738,178	54,507,739	40,903,858	25,317,391
	支出												
	人件費	612,065,241	1,200,000	220,071,232	180,414,954	19,828,139	19,828,139	301,247,701	262,574,186	38,673,515	38,209,983	33,070,258	18,266,067
	事務費支出	254,098,359	2,121,424	140,693,676	55,671,696	79,260,760	5,761,220	94,375,927	82,146,099	12,229,828	8,683,830	5,747,518	2,475,984
	事業費支出	189,553,203	100,000	107,611,945	98,039,022	9,572,923	0	71,113,638	63,828,366	7,285,272	9,536,831	620,938	569,851
	借入金利息支出	5,774,436	0	452,625	452,625	0	0	5,321,811	5,321,811	0	0	0	0
	経理区分間繰入金支出	24,350,000	21,900,000	0	0	0	0	2,450,000	2,450,000	0	0	0	0
	利用者負担減額	4,131,074	0	0	0	0	0	4,062,979	3,951,207	111,772	68,095	0	0
	経常支出計(2)	1,089,972,313	25,321,424	468,829,478	334,578,297	108,661,822	25,589,359	478,572,056	420,271,669	58,300,387	56,498,739	39,438,714	21,311,902
	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	42,276,579	△ 24,567,042	45,385,119	19,531,533	△ 22,056,595	47,910,181	17,978,869	32,541,078	△ 14,562,209	△ 1,991,000	1,465,144	4,005,489
施設整備等	収入												
	施設整備等補助金収入	976,447	0	0	0	0	0	976,447	976,447	0	0	0	0
	施設整備等寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設整備等収入計(4)	976,447	0	0	0	0	0	976,447	976,447	0	0	0	0
	支出												
	固定資産取得支出	67,922,474	0	59,397,450	59,397,450	0	0	8,317,124	8,317,124	0	0	207,900	0
	施設整備等支出計(5)	67,922,474	0	59,397,450	59,397,450	0	0	8,317,124	8,317,124	0	0	207,900	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 66,946,027	0	△ 59,397,450	△ 59,397,450	0	0	△ 7,340,677	△ 7,340,677	0	0	△ 207,900	0
財務活動による収支	収入												
	借入金元金償還補助金収入	29,073,241	0	11,900,000	11,900,000	0	0	17,173,241	17,173,241	0	0	0	0
	投資有価証券売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	積立預金取崩収入	41,900,000	3,900,000	33,000,000	33,000,000	0	0	5,000,000	5,000,000	0	0	0	0
	その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	財務収入計(7)	70,973,241	3,900,000	44,900,000	44,900,000	0	0	22,173,241	22,173,241	0	0	0	0
	支出												
	借入金元金償還金支出	74,663,241	0	22,490,000	22,490,000	0	0	52,173,241	52,173,241	0	0	0	0
	積立預金積立支出	61,593	61,593	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	流動資産評価減等による資金減少額等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	財務支出計(8)	74,724,834	61,593	22,490,000	22,490,000	0	0	52,173,241	52,173,241	0	0	0	0
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 3,751,593	3,838,407	22,410,000	22,410,000	0	0	△ 30,000,000	△ 30,000,000	0	0	0	0
	予備費(10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 28,421,041	△ 20,728,635	8,397,669	△ 17,455,917	△ 22,056,595	47,910,181	△ 19,361,808	△ 4,799,599	△ 14,562,209	△ 1,991,000	1,257,244	4,005,489
前期末支払資金残高(12)		365,538,827	81,207,352	115,443,645	95,496,851	△ 128,888,392	148,835,186	131,347,036	203,328,610	71,981,574	17,043,295	7,006,922	13,490,577
当期末支払資金残高(11)+(12)		337,117,786	60,478,717	123,841,314	78,040,934	△ 150,944,987	196,745,367	111,985,228	198,529,011	△ 86,543,783	15,052,295	8,264,166	17,496,066

当法人では、ホームページ(<http://www.otaru-ikuseiin.com>)にて情報公開を行っております。

育成院

検索

で、詳細な財務諸表もご覧いただけます。

蓄音機による

音楽会を楽しみました♪

6月16日、7月4日にそれぞれ小樽育成成院とやすらぎ荘において、高齢者施設等で蓄音機による音楽ボランティアを続けている高橋繁さんに来訪していただき、蓄音機による音楽会を開催いたしました。

高橋さんは昨年の9月に引き続き、3回目の来訪。すでに顔見知りになっていることもあり、皆さん心待ちにしていました。

開催当日は、沢山の利用者が参加。「別れの一本杉」「月がとつても青いから」「鐘の鳴る丘」などなど、蓄音機から流れる昭和の音色に、思わず一緒に口ずさんだり、若いころを思い出したりと、皆さんとっても懐かしんでいました。

また、行く先々での人とのふれあいを大切にする高橋さん。得意の踊りも披露してくださり、楽しさあふれる一時を過ごさせていただきました。



小樽育成成院でレコード盤を紹介



曲に合わせ踊りを披露

四方山話 よもやまばなし

霊安殿の建立

養護老人ホーム小樽

育成院の裏山の中腹まで登ると、木々の間にお堂のような建物がひっそりとたたずんでいます。この建物は昭和46年7月31日に有志の寄付により建立された霊安殿で、現在この中に194柱の魂が安らかに眠っています。

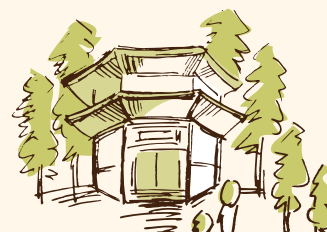


小樽育成成院裏山に建立された霊安殿



天上寺本堂

老人福祉法成立以前の養老施設時代、育成院には身寄りのないお年寄りが多数生活していました。当時は引き取る身内がいなかった方々がお亡くなりになった場合は、天上寺さんをお願いして遺骨を同寺本堂横にある納骨堂に収めていただいていた。このような状態はオタモイ移転後も



天上寺本堂の納骨堂祭壇

しばらくの間続いていましたが、お年寄りたちにとっては、「自分たちが亡くなった後の供養はどうなるのか」という不安はとても大きなものだったと想像されます。

これらの要望に応えるため霊安殿が建立されることとなり、その後亡くなられた方々の遺骨は一時的に天上寺に仮住まいさせてもらい、完成式典に合わせてあらためて霊安殿に安置されました。

近年、入居されるほとんどの方に家族がいらっしゃるため、新たに霊安殿に安置される方はごく僅かとなっていますが、現在でも育成院やすらぎ荘で生活されている方々にとって大きな気持ちの抛り所としての役割を果たしています。